

# 御前山ビオトープ通信

平成28年6月6日

第50号

発行：御前山ダム環境センター  
 編集：NPO「美しい田園21」清野  
 メール：[denen21@hb.tp1.jp](mailto:denen21@hb.tp1.jp)  
 ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



【案内図】



## 目次

1. 御前山ビオトープ平成28年度第1回育成活動
2. 御前山小5年生の水芭蕉の移植

## 1. 御前山ビオトープ平成28年度第1回育成活動

平成28年5月27日(金)に本年度第1回目の御前山ビオトープ育成活動を行いました。

草もかなり繁茂してきたタイミングで稀少種周辺の草取り、梅雨期を前に取水口等の補強作業、今年は子供達が新たに「水芭蕉」を移植することなどが計画され、学校等とも相談して日程を決めました。ところが運悪く、天気予報では27日の午前中に前線が通過し大雨になるというドンピシャで最悪の状況でした。

しかし、今回の作業内容には子供達の「水芭蕉移植」活動の準備作業も含まれていることから、安易に延期するわけにもいきません。

結局、午後から雨が上がりそうとの情報を期待して、一部作業は午後になることも覚悟で雨天決行とすることにしました。

当日の朝は、地域によって、また少しの時間差でかなりめまぐるしく変化する空模様のような様子でした。



水芭蕉とクリンソウの植栽準備

取水口の補強工事



私は県南部から常磐高速道で移動し自宅出発時は全く降っていませんでしたが、水戸ICを降りたあたりからかなり降り出してきました。ところが、ビオトープの現地に着いた時はほとんど降っていませんでした。

現地を廻ってみると、地元の皆さんが前もって土手などの草刈はやっていただいたようでキレイになっていました。とにかく雨が降ってくる前に、急ぐ作業だけでもやっておこうと、集合時間になると手早く作業説明して、3班に別れて取り掛かりました。

1班は「水芭蕉移植準備」で、区長が育ててくれた水芭蕉やクリンソウの苗、マルチなどを



林間の選抜草抜き



圃場に持ち込んで、移植地の整備、マルチ設置、苗の運搬配置などを行い、一部皆で手植えを行いました。子供達の移植作業は、当初は当日の午後の予定でしたが、翌週の31日(水)に延期しました。何とか準備が完了してほっとしました。また上の圃場で大きく成長した水芭蕉の株分け作業も追加して行いました。

2班は取水口周辺の石積みの補強作業です。本体は全く問題ないのですが、下流側の石積みがかなり流されて、このまま放置しておくと今後の洪水などで影響が出る可能性があることから、手作業で周辺の石を運搬して流況の安定化を図ることにしました。足場の悪い小川のなかでの重労働でしたが、なんとか安心な状況になりました。

3班は林間の希少種周辺の草抜きです。こちらは今回初参加の「常陸大宮市地域おこし協力隊」の皆さんにお願いしました。作業に先だって、希少種の説明などを行いましたので、興味を持って頂いたと思います。元気に育っていて、群落周辺の草や雑木を除去するとかなりすっきりしてきました。

まだ、雨は降らないようだったので、ナガエミクリの水路の選択草抜き、圃場の漏水個所の修復、自宅からホテルのために大量のカワニナを持参し散布作業を行ってくれる人もいて、期待以上の作業成果でした。

ただ、今にも降り出しそうな空模様だったので、昼食は近くの桧山公民館に移動することにしました。

昼食までの空き時間に、今回初めて参加していただいた人も多かったことから、那珂川の水利開発の歴史や御前山ダム・ビオトープなどについて、ワンポイント講義を行いました。

公民館で昼食を食べ始めたころに外をみると急に雨が降り出してきたことから、綱渡りのような際どいタイミングで、ラッキーでした。

## 2. 御前山小5年生の水芭蕉の移植

5月27日(金)に雨模様のために順延していた子供達による水芭蕉の移植作業を5月31日(火)に実施しました。

当日は御前山小学校の5年生23名と先生2名を迎え、まず自然観察会を実施しました。

講師は茨城生物の会の藤田先生で、植物の不思議さ、おもしろさを聞いて生徒たちはうなずいたり、友達どうしで話したりしながら熱心にメモを

藤田先生の説明



水芭蕉とクリンソウの植栽



とっていました。

また、藤田先生が自分たちの身近なところに豊かな自然があること、それを残していかなくはないことを話してくださいました。

藤田先生のお話の後には、皆で水芭蕉と九輪草を植えました。